

市議会3月定例会初日に、古川市長が令和8年度の市政運営に対する基本姿勢および今後取り組む重点施策を「令和8年度施政方針」として述べました。その主な内容についてお知らせします。

詳しくはこちら



福祉・保健部門

- **高齢福祉**
高齢者が安心して暮らし続けられるよう地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向け、取り組みます。
- **障害福祉**
障害のある人もない人も地域で安心して暮らせる共生社会の実現に向け、関係機関と協力・連携して支援します。
- **生活保護**
生活保護制度を適正に運用し、就業機会の提供など保護世帯の自立を推進し、あわせて、生活困窮者に対しても、安心して自立した生活が営まれるよう相談や支援に取り組みます。

● **子ども家庭センター**

すべての妊産婦や子育て世帯、子どもに対し、出産前から子育て期にかかる切れ目ない支援を包括的に行う施設として、子ども家庭センターを十八親和銀行旧島原支店の場所に設置し、周辺のまちの賑わいと協調しながら、利便性も兼ね備えた施設を目指します。

● **とことん子育てにやさしいまち島原**

「はじめの100か月」に豊かな遊びと体験の獲得や親子の愛着形成の手助けに重点を置く支援を充実し、子どもが健やかに成長できる環境の整備と、第2子以降の保育料の完全無料化や乳幼児から高校生世代までの医療費の給付などの経済的支援、ひとり親家庭に対する生活の安定と自立への支援を推進し、「とことん子育てにやさしい島原」を誰もが実感できるよう取り組みます。



● **医療対策**

医師会などの関係機関と連携し、市民が安心できる救急医療体制の維持・充実、看護師などの医療人材の確保を図ります。

● **市民の健康づくり**

各種がん検診や人間ドック、成人歯科健診などの健康増進事業にも取り組みます。

● **国民健康保険事業**

ジェネリック医薬品の普及や特定健康診査の受診率向上に努めます。また、糖尿病性腎臓病を原因疾患とする人工透析への移行を防止・遅延する事業を実施し、医療費の適正化に取り組みます。

環境部門

● **地球温暖化対策**

2050年までに本市の目標である9万トンの温室効果ガスを削減するため、島原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、行政・市民・事業者が一体となった様々な取り組みを推進します。

家畜糞尿や野菜残さなどを利用したバイオマス発電事業の導入に向けた調査・研究をさらに推進し、「EVたしろ号」への電力供給に活用するなど、グリーンエネルギーの地産地消の仕組みづくりに引き続き取り組みます。

● **廃棄物対策**

「4万人のごみ減量プロジェクト」を推進し、ごみ減量化に引き続き取り組みます。

農林水産部門

● **スマート農業推進**

県下随一の農業地帯である強みを生かし、経営基盤の強化を重点施策として、経営規模の拡大や農作業の省力化、生産コストの縮減、先進技術を活用したスマート農業や次世代施設園芸などの促進を図ります。

また、労力支援システムの強化に努めるとともに、担い手への農地集積、集約化などの推進を図り、本市農業の競争力強化に努めます。

● **担い手対策**

新規就農者に対する助成を活用し、次世代を担う若手農業者の育成を図ります。

● **畜産関係**

家畜飼養施設における衛生管理の徹底に努めるとともに、畜産クラスター構築事業を活用した施設整備や優良な家畜の導入などにより、競争力の強化と経営の維持・安定を図ります。

● **耕地関係**

基盤整備事業の実施による農業所得の増加など一定の効果が得られており、農業後継者の定着にもつながり、地域に活力が生まれています。現在、県営基盤整備事業により事業実施中の三会原第4地区、中原・寺中地区、一野地区および東大地区においては、引き続き円滑な事業の推進を支援します。

また、都市部の農地についても、都市計画区域との調整を行いながら、優良農地の確保に向け基盤整備を検討します。



総務部門

● **人口減少対策**

若年層の人口増加のための支援や結婚を希望する人への支援、子育て世代への支援など、総合的な人口減少対策事業に取り組みます。

移住の推進については、テレビ番組やCMIにより全国から注目を浴びている島原鉄道大三東駅なども活用しながら、SNSなどにより「しまばら暮らし」の良さを効果的に発信するとともに、移住希望者が求める要望に応じ、空き家バンク登録物件のほか空き店舗、空き倉庫の情報提供や体験住宅の活用、オーダーメイドツアーの実施など、きめ細かな支援を行います。

● **ロケツーリズムの推進**

島原の魅力を効果的に情報発信するため、映画やドラマ、CMなどのロケ誘致を行い、きめ細かな撮影サポートを行ったことにより、多くの撮影が島原で行われています。

今後も、広く島原の魅力を発信するとともに、市民皆さまが島原の魅力を再発見するきっかけとなるよう、引き続きロケツーリズムを推進します。

● **地域公共交通**

経営が厳しい島原鉄道に対し、バス路線の維持費を助成するほか、鉄道の安全輸送設備等整備事業や運営に関する支援も行います。

「予約・あいのり・たしろ号」は、市民の移動手段として欠かせない存在となっています。今後も市民に寄り添う公共交通機関となるよう役割の充実と車両や停留所の追加などの利便性向上に努めます。

● **デジタル化**

「行かない窓口」や、「書かない窓口」の利用促進など、デジタル技術を使った取り組みを積極的に進めま

● **マイナンバーカード**

マイナンバーカードの普及については、取得しやすい環境整備を行います。

また、「しまばらん窓口 とるっと」では、パスポート業務や各種証明書発行業務、マイナンバーカードの申請受付及び交付を行うなど、今後も利便性の向上を図ります。

